

震災・原発事故による収入ダウン！ 平成23年度の一切の 地区レクリエーションを中止決定！ 福利厚生に関することは、 幹事間の説明ではなく、 経営協議会を開催し議論せよ！

4月18日の業務委員会（新しい研修センターについて）の後に、幹事間において会社より、平成23年度の地区レクリエーションを中止することを正式決定したとして以下の説明がありました。

東日本大震災及び福島原発事故の発生に伴い、輸送動向や収入が相当な期間に亘り深刻な影響を受けることが予想されることから、平成23年度については、地区レクリエーションを開催しないこととする。

会社：具体的にいうと東京地区は運動会。静岡、三重、関西ではサマージャンボリーとかサマーレクリエーション。名古屋はサマージャンボリーと冬はスキーレク。これを中止する。

組合：スキーレクか。もう終わったのではないのか。

会社：今年度のことである。

組合：来年のことか。そこまでも中止にするのか。

会社：そうだ。社員、家族の皆様には、大変楽しみにしていたところではあるが、ご理解を頂きたい。

組合：正式決定か。

会社：そうだ。協約では福利厚生に関することは、経営協議会等の付議事項になっているが、今回は、金輪際一切止めるというような、福利厚生制度の枠組みを変えるもの、考え方を変えるものではない。昨今の状況に踏まえ、今年度は中止をするということなので幹事間で正式にお話をするということである。

組合：これは、輸送動向、収入が相当な期間に亘り深刻な影響を受けるからやらないということなのか。震災で大変な思いをしている人の気持ちに立ってやらないということではなくて、あくまでも、会社の輸送動向や収入が深刻な影響を受けているからやらないということか。そういう理解でいいか。

会社：震災における自粛、ということもゼロではないが。

組合：ゼロではないが、それよりも、収入の方が相当やばいからということか。

会社：やばいというか、深刻な影響を受けるから今年度は中止するということだ。平成23年度の決算の見込みは、今月末の経営懇談会で説明することになり、今の段階では正式にオープンはできない。先日の運営方針の経営協議会でも、3月11日以降東京口が71という数字は説明したとおりだ。4月に入っても相当厳しい状況にある。

組合：レクリエーションをしなければどれくらい軽費が浮くのか。

会社：金額どうこうではなくて…

組合：輸送動向、収入が厳しくて止めるのだから、それを止めてどれくらい助かるのか知る必要があるだろう。

会社：具体的な金額はわからない。

組合：だいぶ助かるのだろう。

会社：だいぶかどうかは、まあ開催しない分は…

組合：このことに関しては、また検討して、申し入れることがあれば申し入れをしていく。

会社：分かった。見込みなどについては、経営懇談会などにおいて説明することはやぶさかでないので、その時に…

組合：今年度は中止だが、来年度もひょっとしたらまた中止ということもあるのか。

会社：来年度は分からない。今の段階では言えない。

組合：福利厚生を枠組みを変えるということではないのかもしれないが、この件で、経営協議会を開いてもいいのではないか。この先どうなるのか分からない。

会社：枠組みを変えるのならば、場を開いての協議が必要だが。

組合：来年もどうなるのか分からないのだろう。

会社：分からない。

組合：枠組みを変えるということにこだわらないで、明らかに福利厚生に関わる事象なのだから、経営協議会を行うべきだ。

会社：幹事間で説明をしている。

組合：幹事間の説明ではなく、この件で協議をすべきだ。

以 上